

日の出山から山岳信仰の御岳山へ

開催日：2024年4月27日（土） 曇り 健脚LV2 歩数：19000歩 距離：11km

集合：JR武蔵五日市駅 9時10分

コース：武蔵五日市駅（バス9時35分発）→上養沢バス停（標高350m）→柿平園地→尾根道分岐→くろも岩→日の出山🌄（標高902m 昼食）→御師集落→武蔵御嶽神社→奥宮遥拝所→御岳山山頂（標高929m）→神代檜→表参道→御岳ビジターセンター🌄→分岐→ケーブル御嶽駅（ケーブルカー乗車）→ケーブル滝本駅→大鳥居→多摩川左岸→御嶽駅（標高240m）

参加者 A班 市村L 三田 松本 高津佐 亀田 工藤 飯倉 田村（班長）

B班 熊坂SL 勅使河原 五十嵐 平石 加納 風間 佐藤し 山田SL（班長） 16名

コースは「関東ふれあいの道杉の木陰のみち」で、上養沢バス停から日の出山と御岳山の2山を踏破して御嶽駅へ下りるコースです。KWCで2016年4月9日に16名が参加して実施。今回は御岳山からの下山は一部区間ケーブルカーを利用しました。

日の出山は、青梅市御岳と日の出町の境界に位置する標高902mの山です。御岳山の東に連なり、関東平野の東京都心方面の眺望が良い山です。御岳山は、青梅市にある標高929mの山です。武蔵御岳山とも呼ばれています。古くから山岳信仰の対象となっており、山上には武蔵御嶽神社が建立されています。

「どんな山も一步一步なのよ。一步一步、足を前に運びさえすれば8000mの山だって登れるのよ」（田部井淳子さん）の言葉を噛みしめながら、汗をかいて日の出山山頂へ。山頂からの景観に達成感いっぱい。午後は日の出山から御岳山～御嶽駅へ、熊坂さんの春の花案内でゆったりハイキングを楽しみました。



武蔵五日市駅(バス)～上養沢バス停 10時20分～養沢川沿いを上流へ

集合場所は、JR五日市線終着駅の武蔵五日市駅。レンガ造り駅舎と一枚板に書かれた駅名、趣があります。「あきる野・日の出・檜原」の地図が掲示されていたので、バスルート、ハイキングコースを簡単説明。9時35分発の増便バスに乗って西へ、「瀬音の湯」を經由して十里木バス停から養沢川に沿って北上。10時5分に上養沢バス停に到着。ここは関東ふれあいの道杉の木陰のみちの起点、終点の御岳駅まで11.5kmと標示されています。空き地でストレッチをして、10時20分にスタート。養沢川沿いのアスファルト道を上流へ、川辺にヒメレンゲ、紫モクレンやシャガなど春の花々が咲いています。



10時37分 柿平園地 登山道～雉の先導&見送り～急峻な上り

10時37分、柿平園地に到着。水分補給と衣類調整、ここからA班、B班に分かれ、A班先行で山道に入ります。標識には「関東ふれあいの道、日の出山まで2.1km」の標示。ここに6～7人のカメラマンが、三脚で何やら被写体待ち。「ヤマドリ（雉）を撮っている」とのこと、登山道入り口にその雉がいました。カメラマンが「突かれるよ」と注意喚起。田村さんを先頭に歩いていくと登山道を先導するかのようになっていきます。200mほどは歩いたでしょうか、下見のときと同じ場所で「見送って」くれました。急峻な上りが続きます。養沢鍾乳洞は閉鎖中、汗が噴き出て息が切れるような上り、平らなところに出て小休憩。



尾根道分岐～くろも岩～山頂直下急登～11時55分 日の出山山頂

小休憩したところから3分ほど歩き、急峻な階段を上りきると尾根道の分岐に出ました。再び小休憩、しばらくしてB班も到着。平坦な尾根道を歩き、階段を上ったところに「左日の出山0.5km、右くろも岩10m」の標識が立っていました。下見のときに見逃してしまったくろも岩の写真をパチリ。左は急峻な長い階段、上りきって日の出山まで0.3km。今度は歩幅の合わない丸木段上りが続きます。山頂直下の急登を登りきって11時55分、A班が標高902mの日の出山山頂に到着。「山高きが故に貴からず」という故事があります。低山とはいえ、汗をかき一生懸命登ってきて山頂を極めた達成感は格別です。



東屋の下や展望の良いベンチで昼食タイム 御岳山への縦走準備

B班も続々山頂へ、万歳ポーズで山田さん、その後ろに佐藤さん。B班リーダーの熊坂さん、勅使河原さん、風間さんも到着。山頂に「関東ふれあいの道」の標柱が立っていました。この日の気象情報で青梅市の最高気温は22℃でしたが、東屋の下の寒暖計は16.5℃と5.5℃ほど低め。標高が100m上がると0.6℃低くなると言われていますから、計算あっているなと実感。朝早かったのでお腹が空きました。東屋の下や展望の良いベンチで待望の昼食タイム。山頂写真を撮り忘れ、東屋と東側東京都心方面の景色は下見(11月3日)のときの写真です。集合写真を撮影して、山頂直下のトイレ脇で御岳山への縦走準備です。



12時43分 縦走開始～御岳山エリア～屋久島ヤギ ヤマブキ シャガ

12時43分、縦走開始です。午後は班分けせずに、熊坂サプリーダーのお花説明などを聞きながらのゆったりハイキング。山肌にはテンナンショウが生えていました。尾根道を15分ほど下りてきて武蔵御嶽神社の鳥居へ、ここからは山岳信仰の御岳山エリア。根の張りだした緩やかな上り道の道端に白い花、「エイザンスミレよ」と熊坂さん。最初に見えた民家のところにヤギ、「屋久島ヤギ、名前はカリン、仔ヤギでなく大人」と案内木札がかけられています。「今度の屋久島トレッキングへのお出迎えと安全祈願か」と、餌のキャベツをあげる高津佐さん。黄色鮮やかなヤマブキ、白のシャガなど春の花が見頃です。



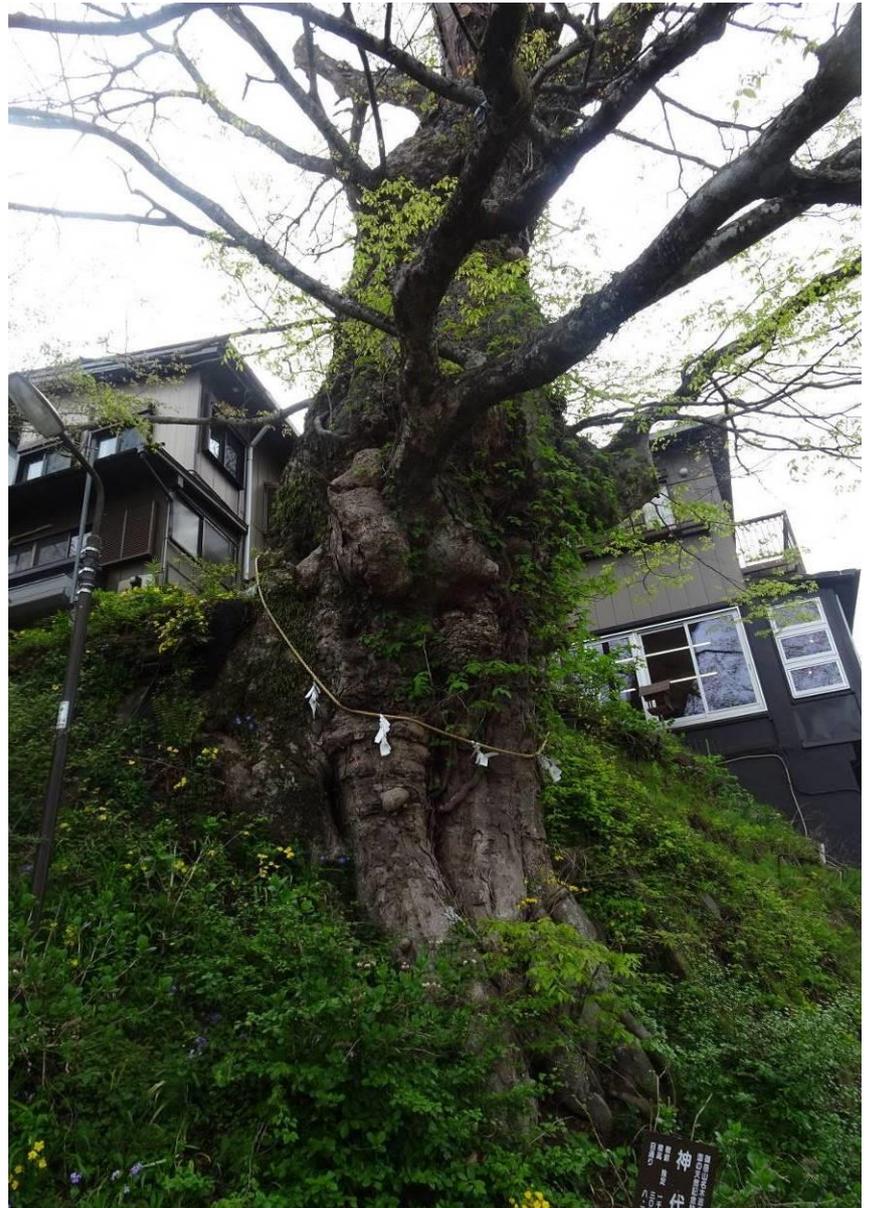
御師集落～武蔵御嶽神社～奥宮遥拝所～御岳山山頂(標高929m)

宿坊の御師集落の坂道を上り、参拝者で賑わう参道を通り鳥居前へ到着。参道石段を上って行くと、右手にテレビカメラを持った人が、「NHK海外向けの国際放映をしているので取材させてください」とのこと、熊坂さんが「ウォーキングクラブでハイキングを楽しんでいる・・・」とインタビューに応えました。武蔵御嶽神社本殿前の狛犬は風格があります。山頂の神社の一番奥にある大口真神社の狛犬はオオカミですが、これは犬のようです。本殿後方は奥宮遥拝所となっています。小さな御岳山山頂標識(標高929m)を囲んで集合写真を撮影。この日、日の出山と御岳山の2山を踏破して参道石段を下ります。



隨身門～大鳥居～天然記念物の樹齢推定1000年の神代ケヤキ

隨身門、大鳥居を通り参道お土産店街へ。店の奥が食事処になっていて、食事をしながら景観も楽しめそうです。お土産店街を出ると、天然記念物の神代ケヤキが立っています。樹齢推定1000年、樹高30m、目通り8.2m、平安時代から世の変遷を見てきた古木です。その根元に目を向けると、黄色のヤマブキや白いニリンソウが咲いています。「山の斜面に這いつくばるように咲く、見過ごしてしまいそうな小さな花たち。都会に暮らす人の手で造られた、花屋に並ぶ花や、花壇に整然と植えられた花を見てきた私には、そのひたむきな姿に、またひとつ感動をもらったような気がする」(高津佐さんの感想)の景色です。



表参道～御岳ビジターセンター～分岐～カモシカ～ケーブル御嶽駅

表参道を下ります。宿坊丸山荘の前を通り14時3分、御岳ビジターセンターに到着。2階フロアで、お菓子などの差し入れがありしばし休憩。センターを出て、少し歩くと分岐。右が表参道で「関東ふれあいの道杉の木陰の道」のコース、急峻な下り道です。左のケーブル御嶽駅への道へ、「カモシカを探せ」の張り紙が出てきました。斜面に鮮やかなシャクナゲの花が咲いていて、目を横に移すと草を食べているのでしょうか大きなカモシカがいました。平坦な道を歩いて行きケーブル御嶽駅に到着。駅横の説明板に「世界初の女性エベレスト登頂者の田部井敦子さんは、東京に出てきて最初に登った山が御岳山」と書かれていました。



ケーブル御嶽駅～滝本駅～大鳥居～多摩川左岸～15時40分 御嶽駅

14時50分発に乗車、標高差423.6mを6分で下りて滝本駅へ。ここからはアスファルト道を下って行きます。大鳥居に出て吉野街道を横切り多摩川沿いに入ります。紫色のジュウニヒトエが咲いている道を下りて、神路橋を渡って多摩川左岸を上流へ向かいます。御嶽駅前の御岳橋が見えてきました。「多摩川、海から71.2km」の標識を通過、御岳橋の橋げた横の階段を上って15時40分に御嶽駅に着きました。駅横の広場でクールダウン。歩数1万9000歩、距離11kmでした。お土産は、滝本駅で購入したきび餅と「のしこん」で購入した刺身こんにやくです。



(いちむら記)